

琉球大学学術リポジトリ

受講ノート：経済と法制

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38518

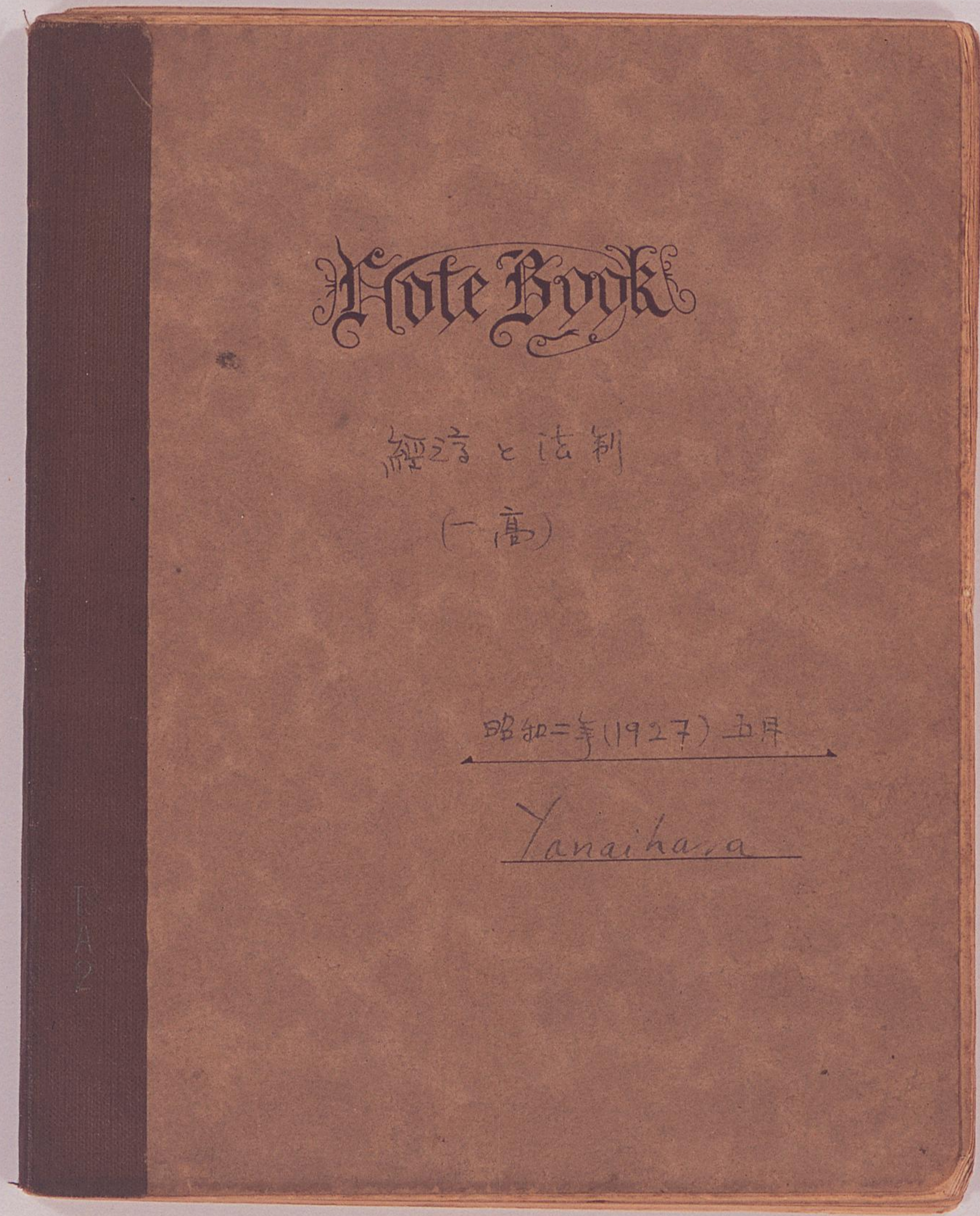
矢内原忠雄文庫

史料名	経済と法制(一高)昭和二年(1927)五月 [第一部 経済]
封筒番号	537
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成17年11月22日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号：537

史料名	経済と法制(一高)昭和二年(1927)五月 [第一部 経済]
資料形態	ノート
枚数	48
頁数	96
縦 (cm)	21
横 (cm)	16.5
厚さ (cm)	
書誌的事項	受講ノート 30-31枚目に新聞記事2枚あり、記述は46枚目まで 今泉分類記号：Y



又一方に於ては國民院は外國貿易外國移住外國投資等に
より他國と密接の經濟的接觸に入るにより其範圍
を拡大する。英國國民院の發達は此の自傳と國際
院との間に立を世界的に及ぶ故に世界院と稱す。
英國國民院は孤立に存在するのではなく、世界院の
連環の中に入り得る可なり。

Historische Entwicklung
der Wirtschaft

七. 經濟生活は社會的條件に依りて發展する。生命は國體也。
依りて生活は停滯せず。社會的條件は時と共に發展す。現代の
經濟生活は過去各時代各段階の經濟生活の發展したる
結果なり。原始共產的なる部族國體より封建的國體
封建制の時代を経て現代の市民國體に至る。

近代

資本主義の樹立
は政治的には市民
國家の成立、経済的には
産業革命によるもの
なり。其の中心は英國に
あり。英國は明治維新
より其の時代を
為す。

諸現象は歴史的に把握せらる。院行法則は「史
則」なり。現代の院行法則は現代の院行社會にのみ
適用せらる。社會的條件は漸進的に連続す。一時代の社會的
條件の特徵は既に前時代の末期には前時代の社會的
條件の中にも包含せしめられ、
時代の社會的條件の内部に於て矛盾が起る。此の矛盾
的條件の破壊は新時代の社會的條件を形成する
factorとなる也。例へば同業院合への職業の轉移、
場所、教、價格、貨幣、貨幣數量に因る制限は其の時
代の生産力に適合し得る社會秩序である。

社會生産力の發展は
條件に依りて進歩す。
資本主義の發展は
其の條件に依りて進歩す。
資本主義の發展は
其の條件に依りて進歩す。

資本主義の發展は其の條件に依りて進歩す。資本主義の發展は其の條件に依りて進歩す。資本主義の發展は其の條件に依りて進歩す。

社會的生產力、進歩し、此の^{規則}は都て社會
的條件に依りて發展せしむるに於て社會的條件の
なり得る可なり。同業院合は内部的に外部の
市場の擴張に達せしむるに代りて資本主義の
院行秩序を生じたる也。或は又資本主義の下に於
て自由院行と獨占院行の相持の關係に於て
國體を及ぼす。

社會的條件の發展の基礎はものを院行的條件
なり。院行的條件の發展は競争なり。
之を「史則」と稱す。社會的條件の發展は
國體の史則なり。

院行史

職業制、相持の使用、
階級の發達、
世帯の Zusammenhänge

第四節 交換市場 貨幣、信用、証券

一 [生産者間の商取引は交換過程に入る。この交換過程は一度に生産者の欲望満足の商品の使用を果し、品後の消費者に消費せしめ仕舞うものである。多くは数回の交換過程を繰返して消費者の手許に達す。又多くの商取引は交換過程を経た後再び生産者間に作用す。例へば石炭は生産者間の商取引として買ひ進め、自家の store に焚くものあり、又之を他の消費者に供給し、或は工場 boiler に焚くものあり。後の場合は生産の野営用途に外ならず。社会に於ける生産の連続は此の再生産過程によりて行はれ、即ち生産再生産過程の連続は交換過程なり。この交換が連続的なる共に、同時に之を流通過程といふ。生産者間の商取引は流通し、流通する。故に再生産が行はれる也。

二 [商取引を目的とするものは商業なり。] [商取引の行はるる場所を市場といふ。市場には不特定の買手と不特定の買手とが接するなり。通信運輸機関の発達により市場に於ける、売手及買手の範囲は共に擴大し、大量生産、大量取引を可能ならしむ。従つて今日の商業は大企業に集中せり。] [市場には卸賣市場及小売市場あり。市場の発達は商賈の需要供給の趨勢を知らしめ、物價を社会に告知し、証券と円滑にし、生産者及消費者に之を便利なり。併し、介介仲

介商人のあまりに多數なることは生産者間の商取引を少くし、消費者の買價を高くするものなり。故に、消費者の買價と生産者の直接取引との差は消費者の利益等なり。生産者自ら販売する時は生産者の利益を増大し、消費者利益を減少する時は消費者の利益を増大す。

三 市場取引は需要供給の見込の下に行はるるものなり。故に、勢ひ投機的となる。専ら、投機取引を目的として行はるる市場の上下による投機的利益を収めんとする仲買人市場を証券取引所といふ。証券取引所には米穀取引所、三品取引所(大豆、綿糸、棉花、木綿)等の物品取引所、及株式取引所あり。代償性を有する商取引の大量取引は証券取引所に集中して行はれ、其の公表は公表せられ、生産者及消費者、社会の生産者消費者及商人に於ける経済的行動の指針を示す。殊に株式取引所は、株式資本に移動せしめ、その集中(会社の買収或は株式市場に反映せしめ)によりて、証券の集中を容易ならしむ(新株の発行又は増資の場合)。

三 (三) 商品の流通は貨幣を媒介として行はる。W-G-W。しかし、一箇の連続的動作によらずして、是が商取引は貨幣と交換せしめ、次に貨幣を商取引と交換せしめ、二箇の過程に分れて行はる。即ち W-G, G-W。商品流通の実際は貨幣は其の車輪なり。一、今や貨幣が経済生活の中心として知られる也。

この故如何に利は市場にある、一切の不便は貨幣
に於て言はれ即ち貨幣として所引の財貨と交換に
て、及び貨幣は一切の商賈を最も簡便に購入し得一
切の所引に於て支拂手段として用ひるに於て一般に
對し包括的の便宜性あるが故に財貨と異なり。

貨幣はかくの如き性質を有するに於て交換の媒介、便
の尺、支拂手段としての機能を有するが故に消費
貸借の目的、貸借差の算定等に用ひらる。
かくの如き貨幣はかくの如き商賈の購買力、商賈の購買
力と異なり、且自身消費せしむるに於て、最後の消費
者たる唯一の財貨なり。因に貨幣に對しては、個人
貨幣自身留にはあらず。

(二) 四、如何なる財貨を貨幣として用ひるに當りては
歴史的の決定なるなり。従つては貝、布、銅、銀、紙
等も貨幣として用ひられしことあり、近代に於ては金銀

を以てその素材とす。當りに貨幣の如きは其の質上
社會に於て一般に承認せらるるものに且つ携帯に便に、
質上堅固に、價値変動少く、且つ其の量を要する。
貨幣の素材の一切の財貨は其の質上、
他の貨幣と共に又、銀行所引の量の増加に伴ひ、高
なる量の供給を増加し得るに於て、之を近代に於て
銀、銅、金、法國貨幣制交、上車位貨幣として用ひ
られしことあり。

貨幣の質上

三、(五) 社會の経済的の理由に於て貨幣として選べる財貨
は更に國家の法律に於て強制通用力とせらる。蓋し貨幣
は銀行所引の中心なるが故に其の便性について優點多
かり。其の信用に於て絶對的の所引の限、銀行所引を境
とし、且つ貨幣の發行は國家の權力と收入とを
増すが故に、貨幣發行は之を國家に獨りあらし、私人の
鑄造を許さず也。即ち國家は貨幣法によりて貨幣を統一し
規定し其の信用を維持す。

我國の貨幣制は金本位制なり。金二分を以て貨幣の單位と
し之を圓とす。(貨幣法二年)。貨幣は本位貨幣は五圓、十圓、
二十圓の三種類あり。川銀の所引に便むるに銀貨、白銅貨、
銅貨の補助貨幣を設く。本位貨幣に於ては地金の
價値と貨幣の額面價値と一致するに對し、補助
貨幣に於ては額面價値は地金價値と異なるが、其の強
制通用力と認め、^{金銀}は一定の限度を置かる。
貨幣はかく一定の品位と(金900、銅100)を保持、一定
の量を有し(通用の重量用)、一定の刻印を備へらる。
貨幣の偽造は刑法の嚴罰を蒙る。

本位貨幣は
四、(六) 我國は金本位國に於て實際に於て金貨は流通し
たり。外國に於ては金貨は流通し、現実に流通の如きは
兌換銀行券なり。兌換銀行券 Banknote は本位貨幣を
代表するものにして、^{中央}銀行が之を發行し所持人の要求

一定の
品位を
維持す

貨幣の供給
自由鑄造
兌換銀行券
兌換銀行券の
Gresham
法
兌換銀行券
兌換銀行券

徳川時代

六 (八) 貨幣は高利交換に際しての便他が大なり。交換に
際しての支払を便するに、貨幣の便他は
存なく変動せざるを要す。金貨の素材は
貴金属の一の理由もこれなり。

本位貨幣の便他は其の素材の便他^{（これは貴金属に在る）}に
本位貨幣を改鑄しての素材を必要としむる時は
貨幣の便他は下振す。良貨悪貨並に在る時は
良貨は影をひて劣貨を銷し又は輸出。又は劣貨を
悪貨の材料と流通す。この法則を Gresham's Law
といふ。この現象貨幣便他は下振し物便は騰貴し
取引が妨げらる。

兌換幣と濫發せむる時は銀の便他は下振し
銀の物便騰貴を来す (Inflation)。— (Deflation)

兌換幣の兌換を停止せしむる不換貨幣の在り
の場合には之を濫發を見易く (この現象は戦時に於ける
如く、ドイツ、フランス、埋物物の如く) 之
のため貨幣の便他は暴落す。此の現象を inflation と
其れ債権者の損失債権者の利益を来す。

本位貨幣の改鑄^{又は}兌換幣の濫發^{又は}は政府の財政
上の理由により行はれるものなり。この為には貨幣制を
みなし銀行の健全なる發展を阻害せしむる大なり。

Ch. 5. 信用

一 (九) 貨幣を得んと欲する時は高利を賣すか
低利を借るとの間に有せざる時は後日返済を
せざるに他人より貨幣の供給を受く。之れ即ち信用を
受けたる也。又高利を賣すものは同時にその返済として
貨幣を受取つた利を得ず。低利を借るとは返済を
請解の下に之を預かることなり。之れ即ち信用を
授けたる也。商人は流通の規模に在り銀
貨の在るや之に依りて貨幣の流通も大規模に在り銀貨
たざるべからず。貨幣の流通は停滞せんか銀貨の流
通も停滞し後日界は混亂を来す。信用の授受は
貨幣の流通を即ち是れを円滑せしむる制也。

〔に〕今日の銀行界は信用の基礎の上に在る構
造なり。<sup>信用授受の仕組みは如部に詳説せしむるは此の
旨なり。金貨と parallel するなり。</sup>

信用の授受は通常信用証券を用ひ^{（これは）}信用の授
受に際して用ひる証券は単に名分を有する信用関係と
明かにそのみならず、その身は江の物類は其の
証券の表示を以て其の物類をせしむる效力
あり也。公債証券、銀行券、社債券、及び手形
等之なり。信用取引の繁盛と共に従ひて信用証
券の流通も多し行はるるに在り。

* 手形には為手形、引手形、及小切手あり。
〔小切手は概して十日以内は呈示せしむれば償還請
書も無く。〕

Ch.6 前節 價格 (物價 恐慌)

一、[高平は貨幣に對して引き起す。貨幣により表現せしめたる商品の價值(交換價值)を價格といふ。靴一足十圓といふ可也。價格の基礎は價值なり。即ち材料費、労働費、生産費の價值と、之に追加して利潤の價值とを成す。之を現貨の現貨則尺小冊高平の價格は更に要する生産費の價格と労働の價格即ち労働と[餘剰労働の所産たる價值即ち]資本の利益とを成す。即ち生産費に利潤を加へたるものに之を生産價格といふ。生産價格は價格の基礎と爲すべく基準と爲すに過ぎず。現貨を引起す。價格即ち市場價格は、需要供給の關係によりて高下す。

二、[市場の大規模] 現代に於ては個々の商品は之の生産に要する具體的の生産費によりて定まる。即ち同種商品の一般の條件、即ち材料價格、生産技術、労働效率、設備水準等の社會的基準に依りて同種商品一般の價格は存在せる。故に之等の諸條件に於て特に有利なる地位を占むるものは、~~其の~~ 其の生産費平均以下にして價格は通常なる故に平均以上の利益を占むべし。併し乍ら之等の集に於ける有利なる改良は漸次社會に普及すべからば、生産費の社會的基準を一般に降下せしむるに前記の如き生

(價格は一般に社會生産力に依りて定まる)
(社會生産力の發展に伴ひて價格は高くなる)

産物と高下せしむ。

[三、市場價格は需要供給によりて變動す。] 需要は欲望とは異なり、有效的購買力なり。供給も亦一定の價格に於て(即ち)引起すべし數量なり。] 需要と供給とが平均する時は市場價格は生産價格に等し。若し需要多しと供給少しとすれば價格騰貴して生産者は平均以上の利潤を得べし。故に之の因果の生起は市場に於て逆にして供給超過は價格下落を起しに至らん。 vice versa.

生産物の場合は自由競争を前提とし得べし。獨占の場合に於ては或は特許の技術を獨占し、或は生産量を制限し、或は買収を協定同等の方法によりて自由競争を排除し、~~此の~~ 價格を生産價格以上の利益を得べし。或は買収を協定同等の方法によりて自由競争を排除し、~~此の~~ 價格を生産價格以上の利益を得べし。

一、[四] 工業品の場合(大量生産の利益を最大に得べし) 即ち生産費を甚しく上げるに任ず、或は亦之を減少し、大量の供給を増加せしむる可なり。即ち此の價格は(即ち)此の最低生産費によりて定まる。又之 農産物の場合は土地生産力の制限を受くるに於て生産費を上げずしては其の供給を増加せしむるに困難なるに、其の價格は其の生産力に依りて定まる。即ち此の價格は(即ち)此の最低生産費によりて定まる。又之 農産物の場合は土地生産力の制限を受くるに於て生産費を上げずしては其の供給を増加せしむるに困難なるに、其の價格は其の生産力に依りて定まる。即ち此の價格は(即ち)此の最低生産費によりて定まる。

此の價格は(即ち)此の最低生産費によりて定まる。又之 農産物の場合は土地生産力の制限を受くるに於て生産費を上げずしては其の供給を増加せしむるに困難なるに、其の價格は其の生産力に依りて定まる。即ち此の價格は(即ち)此の最低生産費によりて定まる。

一、[四] 工業品の場合(大量生産の利益を最大に得べし) 即ち生産費を甚しく上げるに任ず、或は亦之を減少し、大量の供給を増加せしむる可なり。即ち此の價格は(即ち)此の最低生産費によりて定まる。又之 農産物の場合は土地生産力の制限を受くるに於て生産費を上げずしては其の供給を増加せしむるに困難なるに、其の價格は其の生産力に依りて定まる。即ち此の價格は(即ち)此の最低生産費によりて定まる。

Kauf + Profit = Kaufpreis
 Marktpreis. 需要供給
 Monopolpreis. 独占
 Geldpreis.
 (金種増加増大)

物價の推移は漸次高くなる。

三. [五] ~~物價~~ 高平は是れ小の需給関係と有るに依りて
 は一高なるに依りて 各種高平の物價は一般に騰貴し其は

下^{する現象} ~~降~~ ^る 物價の變動也。物價變動の原因
 は主として貨幣の供給の變動にあり。[蓋し物價は一般に騰貴し

は一高なるに依りて、貨幣の供給は一般に騰貴し其は
 物價の變動は一般に騰貴し其は一高なるに依りて、貨幣の供給は一般に騰貴し其は

物價の供給は貨幣の購買力に外ならず也。物價の變動は貨幣の購買力に依りて
 [貨幣の供給は貨幣の購買力に依りて、貨幣の供給は一般に騰貴し其は

通平高平(物價)量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し
 ば、物價の量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し

は、物價の量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し
 ば、物價の量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し

は、物價の量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し
 ば、物價の量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し

は、物價の量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し
 ば、物價の量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し

は、物價の量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し
 ば、物價の量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し

は、物價の量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し
 ば、物價の量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し

は、物價の量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し
 ば、物價の量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し

は、物價の量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し
 ば、物價の量に適應するに依りて、貨幣(物價)量は存在し

物價指數
 貨幣指數
 日本帝國銀行
 p. 211. 217

貨幣指數
 (100=100)

209	259
10	200
11	196
12	199
13	206
14	201
15	179

貨幣指數
 (100=100)

209	-
10	-
11	250
12	222
13	220
14	228
15	214

貨幣指數
 (100=100)

209	305	302
10	306	303
11	334	330
12	345	341
13	343	339
14	335	322

高平取引の volume
 通貨流通の volume (= 流通の通貨量 × 流通速度)

通貨流通の volume (= 流通の通貨量 × 流通速度)

通貨流通の volume (= 流通の通貨量 × 流通速度)

通貨流通の volume (= 流通の通貨量 × 流通速度)

Ch 物價

六. 生産の停滞は行はれ、其は次の二つの条件を要す。

(1) 各生産部門の均衡。— 「これは、製鉄業につい
 ていへば、之を一定規模に維持するに必要は鉄鉱石、
 石炭、其他重工業の供給に必要数量に供給せしむる
 べからず、其の必要以上の時は、鐵鉱石、石炭坑等
 には生産過剩を生じ、製鉄業には生産不足を生じ、
 此は又他の生産部門に影響を波及し、生産界の
 停滞を促進せしむる。

(2) 各生産部門の生産物の高平物價の實現。

斯くの生産物の高平は消費者に於て吸収せし貨幣
 形態に置き換へるに要す。生産物の貨幣化
 が是れによりて、其の生産をくり返すに得るなり。
 是れは、高平の實現に必要なり。高平の實現に
 得る時、即ち生産過剩の時は、其の貨幣は行方不明
 となり、之を回収する一切の貨幣に直接間接の影響を
 与ふ。

此の各貨幣各生産部門は直接間接の依存
 関係にあるに依りて、其の一方に於ける恐慌は、其の
 一貨幣の破産を招くに對し、其の他貨幣の破産の
 波及せしむる。

是れは、生産界の均衡より、其の各貨幣の
 破産を導く。其の各貨幣の破産は、更に生産界
 に及ぼす影響は、其の各貨幣の破産を深刻ならしむる。

分業

2. 貨幣貸銀には名義上の貸銀と実質貸銀とを区別せよ。前者は貨幣の貸付に依りて後者は購買力あり。故に前者の所有の状態は前者の貸銀と以て計るべし。後者の所有の状態は貨幣と貨物とを比較して計るべし。

3. 貨幣貸銀の利率は又前者の長短と照し合せて見れば其の多少をいふべし。

4. 貨幣の運用貸銀(生活費に用ひる)及乘給肉作におよぶ貸銀は資本と労働との相対的価値より決定せしむべし。前者は労働者の賃金より決定せしむべし。後者は労働者の賃金と資本の利益との相対的価値より決定せしむべし。[資本と労働との相対的価値を以て計るべし]

三 (四) 地主の地代を所得するは土地の利用の程度に依りて異なる。即ち土地の所有の程度に依りて異なる。土地の利用の程度は土地の所有の程度に依りて異なる。土地の利用の程度は土地の所有の程度に依りて異なる。土地の利用の程度は土地の所有の程度に依りて異なる。

地代の額は土地の肥沃度及土地の位置等による。土地の利用の程度に依りて異なる。土地の利用の程度は土地の所有の程度に依りて異なる。土地の利用の程度は土地の所有の程度に依りて異なる。土地の利用の程度は土地の所有の程度に依りて異なる。

人口増加は耕作地を拡張せしむるに依りて土地の所有の程度に依りて異なる。土地の利用の程度は土地の所有の程度に依りて異なる。土地の利用の程度は土地の所有の程度に依りて異なる。

土地の生産価格により決定せしむべし。

[地代は需要供給の均衡により上下す。人口増加、社会所有の土地の傾向より。] (土地の所有の程度に依りて異なる)

(五) 企業は自己資本の外に他人資本を利用す。社会には自己資本と他人資本とを以て計るべし。

或は土地の所有の利益、資本の所有の利益、労働の利益を以て計るべし。企業は自己資本と他人資本とを以て計るべし。社会には自己資本と他人資本とを以て計るべし。土地の所有の利益、資本の所有の利益、労働の利益を以て計るべし。

社会には一定の利率を以て、土地の所有の利益、資本の所有の利益、労働の利益を以て計るべし。

需要供給の均衡により上下す。[全額貸付を以て]

利率が低下し、借入金は増加す。[全額貸付を以て]

利率が低下し、借入金は増加す。[全額貸付を以て]

利率が低下し、借入金は増加す。[全額貸付を以て]

利率が低下し、借入金は増加す。[全額貸付を以て]

利率が低下し、借入金は増加す。[全額貸付を以て]

利率が低下し、借入金は増加す。[全額貸付を以て]

利率が低下し、借入金は増加す。[全額貸付を以て]

利率が低下し、借入金は増加す。[全額貸付を以て]

利率が低下し、借入金は増加す。[全額貸付を以て]

Rentiers, Leisure Class, 地主の階級、遊食階級

土地の所有の利益、資本の所有の利益、労働の利益を以て計るべし。

(利潤は利息の増大に其の反を以て)

(私有財産とに有する故に、地代利息利潤等不勞所得を得るべき私有財産、此處に於て、^{の地位} 不勞所得の私有財産(?) - 自由な労働者 - 均等に外ならず)

利潤(企業所得) ^(企業利益) 大とすは ^{土地の効用} 資金需要増大に從ひて ^{土地の効用} 利息増大に由る。利息増大するは企業に於ては不利を

創) ^{土地の効用} 利潤は市場の状況に依りて變化する。市場の盛衰は生産物の價格の高く、売出時は金利、地代、^{土地の効用} 利潤増大、^{土地の効用} 利息増大に由る。銀行も亦之に支拂ふに當り、^{土地の効用} 利息増大に由る。銀行も亦之に支拂ふに當り、^{土地の効用} 利息増大に由る。

市場に於ては、^{土地の効用} 利息増大に由る。銀行も亦之に支拂ふに當り、^{土地の効用} 利息増大に由る。銀行も亦之に支拂ふに當り、^{土地の効用} 利息増大に由る。

一定の範囲に於ては、^{土地の効用} 利息増大に由る。銀行も亦之に支拂ふに當り、^{土地の効用} 利息増大に由る。銀行も亦之に支拂ふに當り、^{土地の効用} 利息増大に由る。

Extra Profit

又平均利潤率低下に依りては、^{土地の効用} 利息増大に由る。銀行も亦之に支拂ふに當り、^{土地の効用} 利息増大に由る。銀行も亦之に支拂ふに當り、^{土地の効用} 利息増大に由る。

M
CIV

利潤の増大は
不勞の所得に
依りては、
土地の効用

地代利息は、^{土地の効用} 利息増大に由る。銀行も亦之に支拂ふに當り、^{土地の効用} 利息増大に由る。銀行も亦之に支拂ふに當り、^{土地の効用} 利息増大に由る。

利息低下に依りては、^{土地の効用} 利息増大に由る。銀行も亦之に支拂ふに當り、^{土地の効用} 利息増大に由る。銀行も亦之に支拂ふに當り、^{土地の効用} 利息増大に由る。

ch. 8. 消費

一、生産物は消費により効用を發揮価値を喪失す。消費には生産消費と生計的(終極的)消費とあり、前者は機械動力原料等生産手段としての消費に、社会所得の一部として向けらるは再生産の必要条件なり。生計的消費は生活資料としての消費に、吾人の衣食住等生活維持に与り、部分なり。

労働賃金の支出 --- Capitalist class is productive.
労働者の賃金に労働を費す --- 労働者に与りて生活の消費

二、再生産は前年と同じ規模にて繰返さる、均等之を単純再生産といふ。拡大せしむる規模にて行はる、時として拡張再生産といふ。再生産の円滑に進行する為めには

1. 生産と消費との間に均衡を保たねばならぬ。資本的の生活資料としての生産せしむるには資本の消費力(消費力)により消費せしむる。労働者の生活資料の生産及び労働者の消費と適正せざればならず、若し生産消費力の生産力に及ばず時は生産過剰を惹起す。購買力は社会的消費には物理的の限界あり。労働者は生活資料に飽満すべし。是れは資本の購買力は貨幣によりて秋を限界の間に運外に居る。是れに一方では生産の規模は益々大なる時に日用品に於ては大量生産を余はる。従つて消費力不足(underconsumption)及(資本)社会の過剰なり。

2. 生産手段の生産と消費との間に均衡を保たねばならず。各生産部門の均衡を保つ。第一に生産手段の生産部門と消費手段(生活資料)の生産部門の均衡を保つ。第二に、同一部門内の各生産手段の均衡を保つ。第三に、固定資本の償却と更新の均衡を保つ。是等の均衡を保たねば或は生産過剰の或は生産不足の弊を起す。

一、財政の意義

又国民死傷(社会死傷)
1. 国家及び地方団体の死傷。 国家の財政、地方の財政。
C. 私人又は私企業の死傷。

二、国家の事業(経費)

- a. 国民一般の爲めには必要又は有益なる事業。 教育事業、
b. 公益上私人に於ては得ざる事業。 鉄道、郵便、警察、消防、学校、
c. 私人の爲めを欲せず又は實力を欠く事業。 麻病療養所、
d. 性質上私人の事業に於ては得ざる(資本力の乏弱に由るもの) 郵便、裁判、警察、鑛業、鑛貨

三、国家の収入

- a. 国民の協力関係に基く収入 --- 租税。 又は強制的徴収なり。交換に基くものに於ては、
b. 私法上の関係に基く収入 --- 官有物産及び私法収入、公債。 又は政府の人格者との関係に交換の原則に基く。

四、国民死傷と財政との関係

- 1. 国家の収入は国民の平均的支出に等しく、故に国民死傷の発生すれば国家の収入も減少する。
2. 国民死傷の発生は国家の死傷の施設に及ぶ。故に国家死傷の支出の仕方によりて国民死傷の発生は影響せらる。
3. 経費の増大は国民死傷を促進す。(軍費、警察費)
4. 租税の体系及税率は国民死傷の発生に及ぶ。関係あり。
 (租税の増大は --- 国民の負担、
 消費税の増大は --- 労働者の負担、
 関税 --- 国内産業、
 増徴 --- 増徴(税金)等)
 増徴 --- 増徴(税金)等
5. 公債と金融市場。 公債の発行は金融市場に及ぶ。(公債の発行は金融市場に及ぶ。)

五. 租税の概名.

- 贈与税
- 揮霍税
- 代償税 (株主)
- 犠牲税 (日本国捐付)
- 共同租税 \rightarrow 共同出資 - 共同利益

六. 租税の公平.

- 負担力... \rightarrow 財産又は収入の大小
- (1) 勤労収入 (勤労所得の控除等)
- (2) 扶養義務を負う者の存在.
- (3) 大所得と小所得 (限界效用)
- 累進税率, 超過累進税率, (比例税率と未済)

租税の特典, 物産 (所得控除と並にあり).

単一課税制と複課税制.

\rightarrow 公平負担, 公平収入, 目的達成 \rightarrow 甲

七. 所得税.

総合所得

源泉所得税 - 世帯外社債及公債, 並みには定期預金は利付の1%に

利息の五分を課税する.

法人所得.

株式配当金に於いて源泉所得税を徴す. - 会社設立に於いて新納税を賦す.

また、株主の所得に累進税率を課す.

持株会社 (Holding Company) - 配当金の受給を以て利益を積立金とする. 積立金の課税は1%の率に依りて. 配当金の受給は持株会社の役員に依りて.

昭和十一年四月一日

所得税の補完税 (不況及勤労所得との提携及之と 不況及勤労所得との提携) \rightarrow 収益税

八. 収益税

- 地租: 地目 - 課税, 不公平. (市区市外, 火田, 山林等) 地價, 不公平. (地價修正, 行方不明). 村域の地租増徴は不公平.
- 学費税: 不公平. 課税標準は必ずしも実際の学費を意味せず. 何れも 学費 - 家庭と従事者. \rightarrow 学費税
- 土地所有税 - 地租と所得税
- 資本所有税 - 所得税, 地租に代わつて課税

九. 財産税之概

- 一切の財産 (一切の財産に於て, 他一切の財産は税率の有無を問はず) 均等に課税せしむる事. 富者に対する負担
- 個人財産の調査及評価困難.
- 財産税の徴収には地租と学費は地方に委譲すべし.

一〇. 交通税 (地租課税, 課税の負担)

本税 (口蓋教育に際して) 不公平 \rightarrow 交通税を課すべし 累進税率 \rightarrow 交通税の徴収

印税 (課税の負担又は契約の締結の可及に於て)

登録税 (課税の負担又は契約の締結の可及に於て)

印引税 (印引所に於て定期印)

土地増徴税.

一一. 酒税

酒造税, 酒物消費税 (内酒消費税), 砂糖

一二. 債権 (消費税の一種)

保護債権, 賦課債権

甲

一三 公債

収入適合を期するもの名義の債券なり。(輸入の臨時不足)
その返済の支出により将来収入を先かへす代償の事... 公債五年(償還)
(返済の) ... 租税五年(軍費)

公債 -- 将来国民の負担
租税 -- 現在国民の負担 毎年の費用

(外債 -- 外債は内地に資金を入りて 物産購入即輸入促進
内債 -- 此は内地の事なり)

流即公債 -- 英目的のためは 既成の一定の事なり。大荒れは 一時借入金
即使貯蓄

確即公債 -- 既成の一定の事なり

公債発行價格と利子割合
公債民衆化 (公債額を74%とし、利息を7%とし、国教7%とし) 毎便の売出 (即使貯蓄を公債に) (振替へし)

公債と金融革命 金融革命の勢力

一四 金融論

会計学
計算 収入支出の数字的見解表

議会の議決権
租税の設置及税率 法律による 國債募集は議会の協賛を要す
支出(政府の事案)に対する議会の監督

豫算の效力
(a) 豫算の目的外の支出を許さず
(b) 款項の流用を許さず
(c) 年及の超過を許さず

豫算執行及豫算外の支出 には 議会の事後承認を要す (憲70条 責任法)

國庫屋敷裁判官
裁判官
裁判官 (大抵=40%)

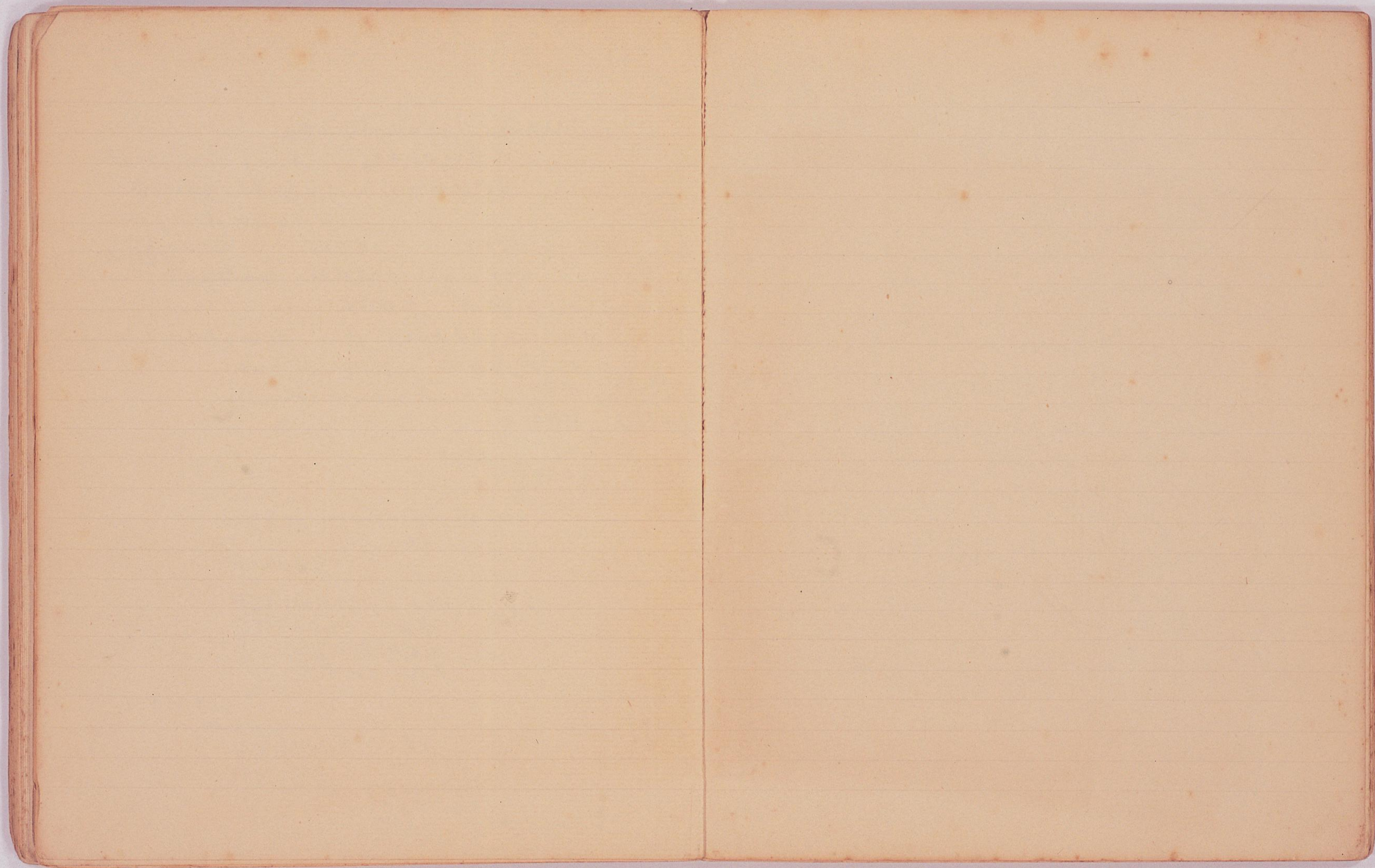
決算 会計検査院
議院

帝國議會

1. 権限 2. 構成 3. 選挙権 4. 議院會議 5. 議院と政府との関係 (責任内閣制) 6. 政黨

三權分立 一 天皇大権 (条約)
二 常任大員に委任し、裁可す 議會 行政組織及行政作用、地方行政財政、
臣民の權利義務。

法律命令
法律系統
法律生活



6

農村振興

- (1) 耕地改良面積單位在大に和之
 ----- 區劃人口の吸収 { 農村工業, 都市, 移民.
- (2) ~~耕地改良~~
 土地に對する公課負担の輕減
 ----- 土地改良と資本財の均配 (地元の資本)
 (3) 土地移轉を安(た)くせよ。 ----- 區劃人口の増進 (地元の人口)
 (4) 地元の増産に對する釋放
 ----- (a) 小作制度 { 年割小作, 小作利公定, 小作内定, 土地改良費賦償
 (b) 自作農創設内定 (土地移轉)
- (5) 農業倉庫, 農業倉庫, 共同販賣, 共同購買 (農村消費, 金融)
- (6) 農價維持 (外米抱所地米の競争)
 (a) 米穀法,
 (b) 米穀國稅 (農村對工業, 土地對消費)

田舎振興
自給自足の程度

四 工業

- (a) 原料を如何に獲得せしむ
 { 区内より - 生糸, 磁石炭, 粘土
 区外より - 砂礫, 木材 (製材)
 外区より - 棉花, 羊毛
- (b) 生産過程の改良
 (区内生産者對原料使用の改善)
 (一) 大規模生産 (地区對小工業の奨励)
 (二) 生産費減少 (資本家對貸付金の奨励)
 (三) 生産高 (加工の生産者對消費)

正月ぢやないか、これから大久保(作次郎氏)のところへ行つて大いにやるんだ」と勝はれたが猪口半分のめない、桐原君、葵まじさうに二人を眺めて「正月だけは酒呑みになりたいものだ」

辻瀧氏送別會 十日午後五時半よりカフエーライオンにて筒岡氏は十九日出發渡佛する▼學園座符原眞田田二劇研究所 男女研究生募集を十日で締切り同日午後六時より半込宮久町七一の同事務所で稽古初めを行ふ▼詩歌雜誌リラの花 松本清氏編輯市外傳文谷五六九より創刊

童謡と歌謡の會 宮城道雄氏一派では来る二十九日(日)午後一時より朝日ホールにおいて童謡と歌謡の會を開催するが出演者は宮城道雄氏及び社中と吉田晴風氏、松平里子夫人で演曲奏は全部宮城氏の作品

人は必ず試みよ

- 流行感冒より起るたんせきの人
 - 肺病にて常に力なきせき出づる人
 - たん臭氣を帯び時々血の交る人
 - 音聲のかれ又は咽喉のいたむ人
 - 老人又は虚勞性のたんせきの人
 - 百日せき又ははしかせきの小兒
- 其他呼吸器疾患のたんせきは如何なる悪性にも凡そ一二週間續いて服用ば其効果顯著なり。

價定

二日半	二十分
四日	三十分
八日	五十分
十五日	三十分
四十五日	三十分

東京市神田區豐島町
本舖 藥劑師
藤井得三郎
電話浪花 一九〇五番
電話口部東京九一
電話浪花 一九〇五番

▽ 全國各藥店に有り △

挿入文書

Handwritten notes in the left margin, including '5. 1000' and '1000'.

昨年度の国際収支推算

貿易外収支超過を差引き 一億七千万圓不足

正金銀行頭取 兒玉謙次

昭和三年の貿易は、實に色々の激風に富んだ年であつた。その上半季は誠に佳年たる感であつて幸に下半季に入つてから次第に整理の術についたがまだ不安心は中々出来な一方海外市場の形勢は極端な不安に陥つた。我が輸出の進行を著しく妨害し、輸入も亦甚しく減少した。輸出額は前年比で約半減、輸入額は前年比で約半増に達した。貿易の不振は、我が國の産業に甚大な影響を及ぼした。...

昨年の貿易

この如く昨年の内外貿易は、概して面白からぬ状態にあつた。殊に我が國の産業は、外國に較べて一層不振の傾向にある。...

貿易外収入

まづ最初に貿易外収入から始める。第一に昨年の本邦人の海外雑収を、...

九千四百九十二號の激風に富んだ年であつた。...

貿易外支出

昨年中にはこれいふ取立代り、...

であるが、貿易外支出に對する受入額は、前年同様に増加した。...

貿易外収支

貿易外収支の差額は、一億七千万圓不足に達した。...

然らばこれに對する貿易外支出は、前年中の支出額に比し、...

貿易外収支の差額

貿易外収支の差額は、一億七千万圓不足に達した。...

貿易外収支の差額は、一億七千万圓不足に達した。...

貿易外収支の差額

貿易外収支の差額は、一億七千万圓不足に達した。...

貿易外収支の差額は、一億七千万圓不足に達した。...

三、再生産の條件は、¹⁾ 社会の破産状態を波及せしめる
 直接の打撃を加へ、²⁾ 社会の破産状態を波及せしめる
 状態を恐るゝこと。資本主義社会は社会全体としての生活の
 世界に何の不可に生産部門との均衡を破る。破る。破る。
 又生産の消費の均衡（消費力不足）を避ける。従つて
 資本主義社会の破産は必然である。

(c) 價格。 (1) Kartell Price. (生産制限、價格協定)
 (2) 獨佔。
 (3) 生産者協定。
 (d) 動力の供給。 又石油。 北米地
 一 電力同然。 中国。
 (e) 燃料。 不備。

五、交通。
 陸運。 海運。 空運。 Postwesen。
 交通相償と生産費。 紙幣の供給。

六、金融。
 中央銀行。
 預金部。
 貯蓄銀行。
 庶民金融。

七、国有用貨同然。
 製造。 電力供給。
 一 生産費。 公差。 軍用上。
 時！ 費

八、~~生産~~ 獨佔。
 納税と任意の課税。
 税率同然と Kartell 獨佔。
 史料と報告。
 國產禁制と自給自足の政策。 } 生産費。
 國防上。

九、輸入。
 金融貿易。
 貨物外貨。

大部分は一般庶民の負担に在る。

租税は国民所得の一部を強制的に徴収するに在り。各人の負担力に依り公平に賦課せらるべきを要す。大所得は小所得より負担力大なり。従つて兩者の負担の公平を期す為めには免税免、累進税率等の制度を設く。又財産所得は勤勞所得より負担力大なり。

四、~~国民所得~~ 国民所得と財政との間には密接な關係在り。財政上の支出附随費を生じる的^にに投せしむ時は国民所得の増進と助長すも、不生じる的^にに投せしむ時は国民所得を圧迫し、資本の蓄積を妨げ、国民所得の増進を阻害す。之れは特に不況の際特に軍費^{の増加}による国民負担の軽減の主要なる原因なり。

更に租税の体系及税率^のは国民の各階級各職業の所得的地位に依り影響を及ぼす。地物^のは農業者の負担過重なり、^{大に依り}財産税^は資本家の負担なり、消費税は庶民の負担を指す。租税の体系中の各々の在る位置は其国民所得の増進の状況に依り規定せらる。又階級の^別負担の輕重を反映するに在り也。

五、國家の地方自治も亦その財政を有す。之を地方財政といふ。之れは國民の財政的負担は國家財政及地方財政兩者の合計によるに在り。[地方財政の理論は本條と本財政と同様なり。]

四 財務論

1. 会計年度

2. 豫算

^豫議院、地方議會

3. 決算

4. 会計検査

5. 一般会計と特別会計

支出計、事前、後計、簡易貯存、租賦、地方、地方、地方

(^{地方}財政の位置-404)

一 國家は財政及其他の政策を決定するに於ては、國民生活の
 発展の目的を達し得べきが、又政策の決定及実行は如何なる
 手段を以て如何なる制度の下に行ふべきか、之等の向徑と内容とを
 決定す政治なり。國民間には各個人の利益あり、~~此等~~ 各個人の
 利益を以て各個人の意思を統制し各個人の利益を調和して
 全体の利益を計るべきが、政治の任務なり。

二 國家の統一意思を決定するもの、君主たる君主政、^{monarchy}
 少数者の手による寡頭政、一般人民の手に由る衆民政(共和政)
 といふ。君主制に議會をも有するものを立憲君主制といふ。
 議會制度は英國に於て最早の例あり、蓋し國王の
 專制に對し人民の自由を要求し、^{法律の制定} 人民の代表者の同意を得るに
 必要なり。其の自由を要求するに由りて、^{法律の制定} 租税徴収及び經費支出の
 是は人民の代表者の同意を必要とするは國王に約束せしむる
 ことに始まる。

~~議會制度は人民の選挙を基礎とし、
 議會は上下二院あり、
 議會は上下二院あり、
 議會は上下二院あり、~~

三 立憲國には立法、行政、司法の三権分立を原則とし、
 以て專制政治の弊を避けること。立法とは法律及予算の
 制定、~~これ~~ 議會の任務なり、行政とは法律の執行、^{及予算}
 執行の政府の任務なり、司法とは法律の
 適用、~~これ~~ 裁判所に於ては裁判所の任務と相所なり。
 然るに政府と議會とは重大關係に於て議會は、
 是は政府は其の政策を実行する能はず、~~これ~~

第十一章 帝國憲法

(一) 帝國議會

- (1) 組織。二院制
- (2) 権限。法律案、法律案、法律案、協賛、^{國庫の増進、}
上院、人民の請託受理。
- (3) 衆議院議員選挙。普通選挙。
納税資格、年齢、性、外国人。
- (4) 政見。實業政見。

(二) 三権分立

- (1) 立法。議會、貴族、華族協會。
- (2) 行政。政府、閣僚、^{政見}。
- (3) 司法。裁判所

(三) 天皇

- (1) 天皇の大権。
- (2) 閣僚大臣、^{皇室親屬}
- (3) 立憲政治。

(四) 法治理

- (1) 臣民の権利義務
- (2) 司法の本質

議会の多数を占める政府の首領が政府を組織し、議会にその
信任により世にわたる行政の責任を負う。即ち政府は
議会に対し責任を有する。これを内閣内閣制、責任
内閣制、議院内閣制等と称す。英國の~~内閣~~内閣員
は形の上で王の任命を受けるが、實際は完全
なる議院内閣制である。日本の
内閣は天皇の任命を受けるが、漸次衆議院の多
数派の首領を任命する傾向となりつつある。

四、衆議院は人民の政治的自決の表現である。
議院内閣制の下では、~~議院内閣制~~多数派を以てしては
政府は其政策を執行する。もしこれに非難が
ある時は、特定の政策を執行せんと欲する場合には、~~暴~~暴
力を用いて議会の権限を停止し、或は議会の組織を
反議院の存在を許さざる一党制に改め、
一つの党に専断的責任を負う。Russia,
Italy 等もこれである。

亦は又議院内閣制
の一種である。
議院内閣制に
政治的自決に
関係する。
時に議院内閣
制は行用され
る。

昭和四年
言語学と自然科学の実際知識

第一章 国々の科学と自然 1.23-28.

一國の自然は、その産業や生産物の種類に影響を及ぼす。この影響は
国際間の交通の進歩により、除かるもの少からず。
又、一國の自然は、その国の経済の繁栄、外に及ぼす経済的競争力
に影響を及ぼす。この影響も、技術の進歩により、変更せしむ。
技術は一國の自然資源、利用を促進し、又は新たな利用方法を
発見し、且つ外國の自然資源を自國の利用に供す。
而して、技術の進歩は、その國の文化の進歩に、経済組織の進歩
に結びつき、
一國の科学の進歩は、自然資源の~~影響~~影響は、技術及び経済
の進歩に結びつき、
自然資源の不足を補ふて餘りあり。
但し、國々の生産力(技術及び経済)の進歩は、
自然資源の不足を補ふて餘りあり。
自然資源の不足を補ふて餘りあり。
自然資源の不足を補ふて餘りあり。
自然資源の不足を補ふて餘りあり。

- 言語学と自然科学の実際知識
- (1) 技術の進歩は、自然資源の不足を補ふて餘りあり。
 - (2) 外國の自然資源に對する、~~経済的~~経済的競争力の進歩。
 - (3) 自然資源の不足を補ふて餘りあり。
自然資源の不足を補ふて餘りあり。
自然資源の不足を補ふて餘りあり。

221の人口の数、密度、増加率が異なる。

一國に資本の蓄積が速く、経済的繁栄を遂げる為には、その必要とするだけの労働者数を保有するに必要なり。即ち人口の増加を必要とする。併し経済的繁栄の進歩の速度が速い時は、資本は十分に雇動出来ず、従って多くの労働者と雇動するに必要なり。人口過剰となる。

この時は失業問題又は移民を生ずる。(人口過剰)。

國民の大多数は労働者農民なり。上流には資本家地主あり。中間には中小商人、自作農、俸給生活者等あり。各階級的生活程度は歴史的にきまつたものなれども、決して固定的にあらず。時代と共に進歩する。尤も労働賃金は労働者の生活程度によりその水準が上下し、その水準は社会の進歩の速度に比例して動く。一定の標準を基礎として見れば、賃金は労働に対する需要供給関係により上下する。又更に資本家の利益に労働者の生活向上を要する社会進歩の速度賃金が高まることとなる。其の後の場合は社会の進歩の速度が速く、資本家は各階級に分配せしむる利益の標準を

賃金が低き國は、その為に見れば他國に比し経済的競争力が強大である。労働者の生活状態は必ずしも豊饒ありていふを得ない。又労働者の賃金を高くすれば、生活の改良せしむる率が大となり、結局生産費を安くするを得る。又賃金の低きことは資本使用の促進の結果であるが、

大なること、
分り、他國に
社会進歩の
力はそれより

同時に賃金を高くするは、機械の高級化に依りて資本使用を大にする原因にもなる。故に賃金を低くすること必ずしも一國の経済力を増す所以にあらず。

労働人口の増加は賃金の低下を招く。—— 之は諸君の考へて見れば、
賃金を一定に constant とせば、

自然(土地)労働、資本を生産の三要素といふ。此等に於て有力なる國が経済的に進歩するわけなり。

現代の経済を資本主義といふは、資本家が経済社会の指導者たるが故なり。資本とは資本の所有者に、資本とは管財の目的の為に用ひらるる生産手段なり。何故資本家が指導的地位を占むるかといふに、産業革命の結果機械の応用大なる工場制の発達せる結果之等の生産手段を所有するものは財産家に限られ、多数の人には之を自分所有するを得ず、資本家に備はるる生産手段の外に他なるものは乏しき故なり。斯く資本家は資本家の貸借を備蓄を展偏し大規模の機械的設備を用ひ管財の目的の為に管財を営むるといふ、この生産市場生産は従つて機械的である。この生産物は交換を目的とし生産せらるるものなり即ち商品である。商品の買却は生産に投じたる資本の償還を以てする以上は利益を得るなり。此の場合には管財の目的を達せしむる物也。

資本家は個人が能力を發揮すべき産業自由の制度を基礎とし、この長所たるは個人が initiative を發揮せしめ、個人の利己心を遠くせしむることにより、富の増進を遂げしむるにあり。この短所たるは既述の如く不平等の現象、産業自由の制度は空名に過ぎ、貧富の懸隔甚しく是れと、又機械的の生産の原理見込違ひを免れ、従つて恐慌は従つて必然の不可避の事とあり。

和学制商人自作
地主+作人の封建的
管財の地位は管財
の目的

(一) 一國社会の需要物資を供給するは國內に於て生産者が又は国外に買はねばならぬ。是れは供給の不足に於ては價格が高まり消費者が困り、この物の消費を節約せざるを得ず、是れは物の絶対的に必要とする時は他の生活資料を節約せねばならぬ。又各種生産部門は生産に必要の機械原料燃料等の物資即ち生産手段、他の生産部門に供給する生産物(是れは機械製造業、採掘業等)の生産物に於て供給せらるるものは、之等の生産不足の結果は当該生産部門の(経済的)の経済の不可能の従つて恐慌状態の現われ也。反之供給が過剰なれば價格が下りて消費者は利益を得るが故に生産者は

一國社会の生産者希望は之を國內に於て販売者が買はねばならぬ。是れは生産が過剰なればは價格が下りて消費者は利益を得るが故に生産者は損失を被るが故に生産者は恐慌状態を極く。

生産と消費即ち需要と供給とは價格を中心として均衡を保たねばならず、現実に於ては生産と消費との均衡は常に存在せず、又各種生産部門間の均衡も交通の割合を維持するといふことはなく、常に不足の過剰を有し、この甚しき時は恐慌となる也。之は現代の経済は價格を中心として見込違ひを免れ、社会の経済状態に於ては生産が無政府状態たるが故に。反之社会全体の秩序を維持し物資の供給

* 国家は主権を統制し秩序を保持し又国民の福利を増進する
任務を有す。

Ch. 13. 国家

(一. 国家は(包括的)權力意思を以て統一せしむる政治団体なり
この意思を主権といふ。主権の及ぶ範圍の地域を領土
といふ。この団体の員を人民又は國民といふ。言語、宗教、人種、
歴史を以て共通にして社會的經濟的共通生活を圖むこと
共通の目的の實現を有する人民の集團附けを基礎とする
民族國家を主とする。然し例外あり。又領土に
~~先づの段階に於て~~ 本國以外に他國の領土を征服し
得たときは、此は國家の範圍及内容は拡張、變化して帝國
の形態を取る。]

二. 国家は統治の機關を有する。我國に於ては天皇の
國家の元首にして政治権を發號し給ふ。國務大臣は天皇を
常時輔弼する責任を有し、又政治及行政上の責任を有す。國務大
臣は又行政各部の長官として、其下に各該の体系を率ふる。
天皇は又陸海軍を統帥し軍の組織編成を定め給ふ。
國務輔弼の防衛及適用、官吏及軍隊の組織を有する。
近代国家の一特徴なり。

皇室顧問は天皇の最高諮詢機關なり。立憲國家の發達
に伴ひ皇室顧問の政治上の意味は減少せしむるなり。

三. 人民は國家に対し租稅を納め、兵役、其他國家權力に服従し
國家の義務を有す。又、亦、他國の領土を征服し、或は他國
近代国家に於ては人民は國家の組織に對し、人民自身に對し
て權利を有す。其最上之點は人民自由權(憲法上の
保障あり)。即ち國家は人民の生命身體財産の自由を以て

(又は法律の適用に関する規則)に 議会協賛の手續
を要せし 行政権の作用に属するもの如 勅令
府令、省令、府知事令、府令、市町村条例等となり、
② 緊急勅令といふは ~~法律~~ 法律を要する項ありて
緊急の事態に際して 議会の協賛を求めざるに
勅令を以て之を發布し 後日 議会の追認を求めざるものなり
尚 朝鮮及台湾の總督は 法律に代る命令を發布
権限を認めらる。 10

三、法の体系には 公法私法及國際法の別あり
公法は 國家 ~~地方自治~~ ^(其他公共団体) の組織、並に ~~地方自治~~ ^{地方自治}
(公共団体)の役員 ~~と~~ 個人の間の關係を
規律する法規に於て、憲法、各級の行政法規、
刑法、裁判所組織法、民事刑事の訴訟法等に
屬す。私法は 公法 ~~の~~ ^の 權力關係に ~~基~~ ^基
づく ~~規律~~ ^{規律} したが個人間の行為の ~~規律~~ ^{規律}
規律に於て 國家との經濟的往來については私
法の適用を受くる也。民法商法等に屬す。[個人は國家
若人に納税を命ずる場合 國家は人民の關係
に於て公法的な事項あり、鐵道運賃の支拂を要求する
は運輸業者對旅客の關係に於て私法的な事項あり]
次に國際法は 國家相互の關係の行為を規律
する法規なりとす。

四、法を改廢するには 法の定めたる一定の手續を
要す。

司法の権力に
關し又は之に對する
關係を

經るに要す。 ~~法律~~ 法律を改廢するには 法の定めたる一定の手續を
要す。法は一たび制定せしむれば 其の内容を以て固定す。然るに
社會の ~~生活~~ ^{生活} の事實は 變遷し 變遷するを 特別に
なすに於て、制定法の内容と 現實の社會生活の事實と
不相容なるに 至るに 是れを免
れず。其の如きは 法を改廢し 社會生活の實際
に適應せしむるべからず。 ~~然~~ 然るに ~~此~~ ^此
法規改廢の法定の手續を 重視し 是れを 司法の
制定せしむるに 即ち 革命なり。

Nov. 12
22期

Ch. 15. 社会思想

Individualism.
Collectivism.
Capitalism.
Socialism.
Idealism.
Materialism.

一、社会は個人より成り、個人は社会の中に生活す。個人も存在する、社会も存在する。各個人に重きを置き、社会は個人の為と見做す。社会思想を個人主義 Individualism といひ、社会に重きを置く思想を団体主義 Collectivism といふ。
(と、個人は社会の為に存在する)

個人は社会に対して単に受動的な存在に止るが、又能動的に働きかけ、時に社会に対して対立する立場を取る。個人は社会的環境の中に生活する。個人は人格は独立なり。個人は人格 Personality は社会によりて形成せられたものに非ず、人間として天賦のものなり。社会によりて規定せられた個人の精神的及物質的生活条件は、個人はそれらに過す。条件の集積は存在 Being を創造す。創造せられた存在 Being は、
毎時社会によりて条件が与らる。故に個人はその ~~自主的~~ Personality の自主、独立、完成を尊重すべし。個人は ^{外界} 社会の奴隷たるに非ず。この意味に於て Individualism は其意義を有す。

個人主義は明白に利己主義と異る。たとひ人格の完成といふことには自己人格の完成に執着するものは利己主義なり。利己主義は ^人 社会的存在に背反する思想なり。故に、^人 個人は ^人 社会の奴隷には非ず、又社会は ^人 個人に存在する。即ち社会を為すことには ^人 個人に存在を有す也。

故に個性は社会と共に完成せしむ。社会を完成せしむることと同時に個性の最大の発展なり。故に最も自己独立的な個性、最も発展せる個性は社会完成の為に自己を棄つ。之れ即ち愛なり。人の最高の生活原理は愛なり。この意味に於て団体主義は個人主義を否定せず、却て個人主義の完成なり。

二、現象の存在及発展の要因を理念に求めし思想を理想主義 Idealism といひ、物質に求めし思想を物質主義 Materialism といふ。理念は形而上の概念にして現象界に於て把握不能なり。物質の本質と亦同様に把握不能なり。物質は人として自覚せず、偏して感覚の物体としてのみ存在す。感覚の物体は自覚せず、偏して外界に存在す。この二つは、^{一切の現象} 一切の外界的存在即ち一切の現象の存在は、根本原因として理念を認めし即ち Idealism なり。

物質主義に基く社会思想は、社会的環境を以て ^{個人} 個人の精神的及物質的生活を規定する原理と爲す。個人の道徳的責任の責任を環境に帰し、環境の改善は個人の道徳的性質を根本的に変化し、社会の根本的改善を爲し得る思想は、~~物質主義~~ 一般の物質主義なりといふべからず。

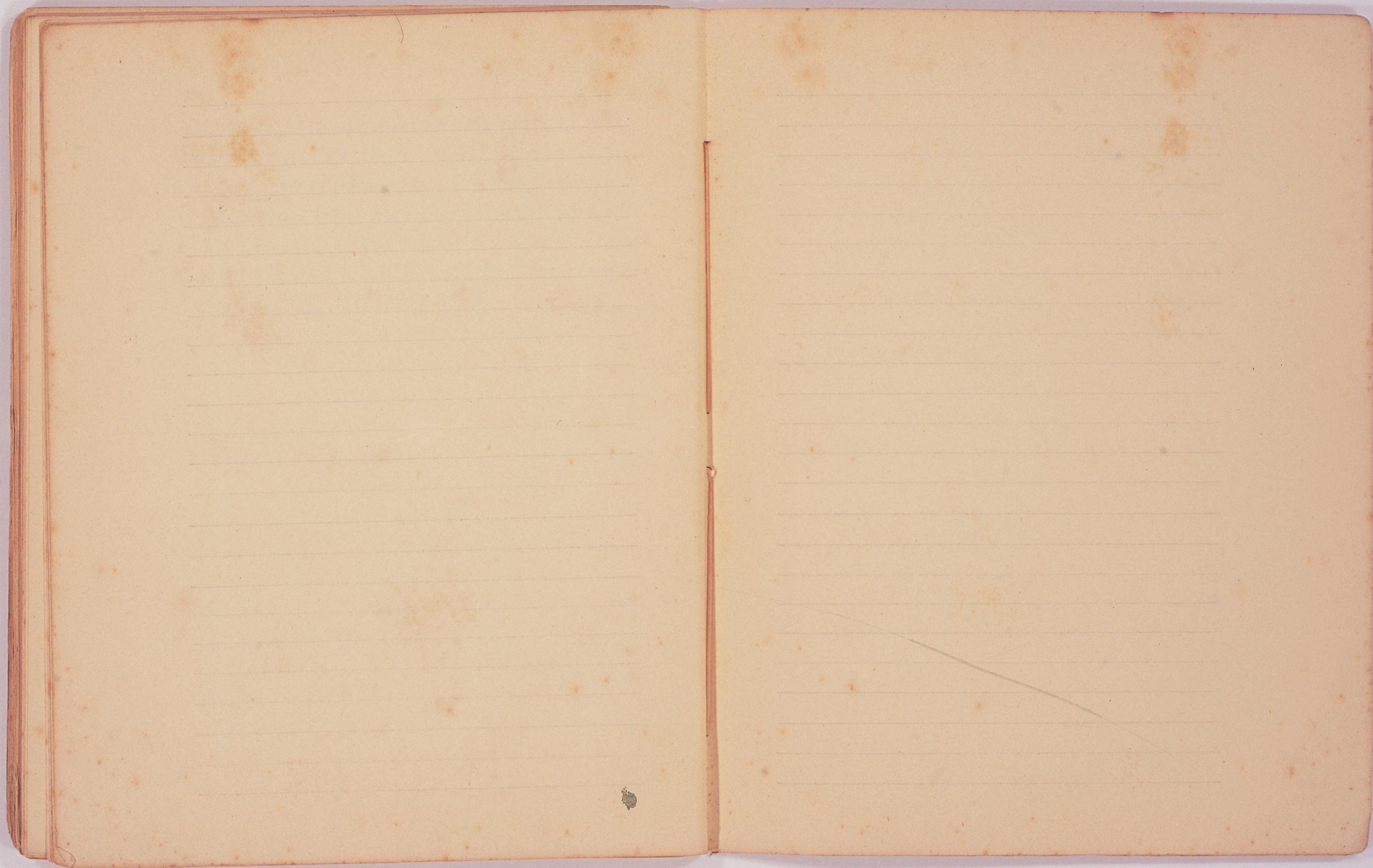
社会的環境の改善——社会制度の改善は個人の発展に於て、又個人の生活に於て重大なる影響を及ぼす。社会的環境は常に改善せしむべきなり。一定の時代に於て社会発展の要諦は、社会制度の改善に在り。社会制度の改善は、
不能力

31 社会进化的
孩子却已 控模如以 至 27 年 此 社会 利 益 七 角
必要に 应 以 改革 せし 小 心 入 力 する 然 小 心 王 環 境 の
改 善 は 生 活 条 件 の 変 化 に 由 じ、 生 活 条 件 の 変 化 は 人 類 の
道 徳 的 存 在 の 根 本 を 変 化 せし 出 づ べ かり 矣。 然 之 環 境
境 の 変 化 に 由 じ 道 徳 的 自 由 の 社会 を 实 現 せし 可 べ かり 矣。
創 成 不 可 能 在 り。 人 類 の 道 徳 的 自 由 と 研 究 せ ば 可 べ かり 矣。
予 理 々 々 字 義 の 存 在 理 由 不 可 知 也。

Dec. 10.

説明 ターゲット

これより **5** 枚
白紙が続きます。
白紙分の撮影を
省略します。



一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

24 100
9 259
15 179

